

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボットの情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	見張り番ⅡNCセット (コードレスフロア)	(株)エクセルエンジニア

導入した介護事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>フロアセンサーを導入することにより、夜間帯における見守り対象者の徘徊や転倒・ベッドからの転落などを未然に防止・察知でき、毎日使用している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>フロアセンサーを導入することにより、見守り対象者が端座位から立ち上がる瞬間の転倒リスクを軽減できる。 夜間帯は介護職員が少人数となるため、センサーの導入で、介護職員の肉体的・精神的負担を軽減できている。そのため、余裕をもって対応できている。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>使い勝手については、有線より無線の方が線が邪魔にならないので使用しやすいとの意見と、有線の方がつながっていると感じやすくわかりやすいとの意見もある。その利用者の状況等に応じて使い分けができています。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>今後も継続して使用していく予定である。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	バイオネクスト (人感センサーなしBSR031NHL)	(株)バイオシルバー

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>徘徊などによって転倒するリスクがある利用者の方の居室に危機を設置。利用者の睡眠状態やベッド上での状態変化をモニターや端末で把握することによって、状況に応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減 ・夜勤時の見廻りの効率化を図ることができた。(見廻りのための訪室回数が30%削減) ・転倒リスクの回避、トイレ誘導・排泄介助のタイミングを見極めることにより、心理的負担の軽減や事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができた。</p> <p>○夜間時の訪室が必要時に限定されたことによって、利用者の精神的負担が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>見廻りの効率化が図られることにより、従来、見廻りしていた時間帯を別業務に振り替えることができ、業務全体の効率が改善された。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>介護ロボットを必要とする利用者が増えているため、より活用しリスク転倒防止を図る。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	眠りSCAN	パラマウントベッド(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
50人	介護老人福祉施設

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>看取り間近等体調急変の可能性を有する方や徘徊傾向のある方等介護上リスクが高いご利用者のベッドに設置し、個々の身体状況を一元管理している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○特に夜間において、就寝時の心肺状況、不意の覚醒状況等が集約的かつ視覚的に把握できることから、不要な訪室回避で利用者の安眠を確保し、また排泄行動等に対する必要な介助を適時に行えることで、職員の適切処置等利用者サービス向上、職員の心身の負担軽減に寄与することができている。</p> <p>○多機能モニター付ナースコールも併用し、コロナ禍における職員の安全安心に一層寄与することにもなった。</p> <p>*なお、日々個々の状況により訪室回数等が異なるため、物理的削減数の提示は困難</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>導入以降の期間経過により、職員の機器に対する信頼感は向上しており、批判的意見はない。逆に利用者動作傾向が掴めることで、より介護業務合理化に寄与するものと思われるが、逆に機器に頼り過ぎることのないよう、職員意識の維持も必要。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>更に時々の利用者ニーズに対し先手を打った介護サービスを提供できるように繋げる。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	眠りSCAN	パラマウントベッド(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
5人	短期入所生活介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>全ご利用者の居室に見守り機器を設置し、睡眠状態や居室内でどのように過ごされているかをパソコンのモニターや携帯端末にて把握することにより状況に応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○夜勤時の定期巡視の効率化を図ることができ、今まで1時間ごとに直接訪室し巡視していたが見廻りのための訪室が30%削減した。</p> <p>○居室内にて転倒等の事故が発生又は疑われる際には、カメラの映像での確認を行うことができ、事故の原因究明や検証を行うことができた。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>夜間に直接訪室することなく、どこにいても状態の確認を行えることから、利用者を起こすことができなく安眠に繋げることができた。また、いつでも確認できることから起床していた際に早期に対応することができた。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>個々の利用者に合わせた機器の設置を行い、より効果的な使用に繋げていく。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	眠りSCAN	パラマウントベッド(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
18人	認知症対応型共同生活介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>徘徊などによって転倒するリスクのあるご利用者の居室に設置し、睡眠状態やベッド上での動作などをモニターやタブレット端末を通じて把握し、状況に合わせた対応を行っている。また、新規入居者の睡眠状態やベッド上での動作などの早期把握にも活用している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果</p> <p>※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○見守り機能による業務内容の効率化 ・就寝時の動作パターンが把握できた事で、転倒リスクの軽減や適切なタイミングでトイレ誘導、排泄介助のタイミング予測がつくようになった。その結果、必要以上の業務の無駄を削減できた。(夜間全体を通し概ね10%)</p> <p>○新規利用者の就寝状態を早期に把握できるようになった事で、介護従事者及びご利用者の精神的負担が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見</p> <p>※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○夜間の排泄介助がしやすくなった。</p> <p>○睡眠状況の把握を通じて生活改善への介入もできるようになり、利用者本人のQOLの向上にも繋げられる。</p> <p>○夜間の過度な訪室が減少し、身体的・精神的負担が減少し円滑な見守りができるようになった。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画</p> <p>※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>○長期利用により、精密なデータを収集を行い更なる状態把握に繋げる事で、介護従事者の負担軽減・利用者の精神的負担の軽減に繋げる。</p> <p>○今より見守り機器を使いこなせることで、もっと効果的に使用できるようにしていく。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	電動ベッドエスパシアシリーズ (低床:KA-N1410A、 超低床KA-N1470A) ナースコール中継ユニット(NU-18A0)	パラマウントベッド(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
83人	介護老人保健施設

使用状況及び導入効果等

①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）
活動性の高くベッドからの滑落のリスクの高いご利用者に離床センサー付き低床・超低床ベッドを使用。ベッドの低い状態と離床センサーによりご利用者の滑落事故や転倒事故防止に効果を発揮している。
②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等
○介護時間については、以前は、夜間時に高頻度の巡回により、事故防止に努めていたが、導入後は、離床センサーにより、センサー反応時の確認に切り替える事で、必要時の訪室確認が行え、夜間巡回時間1回15分×6回を2回(1/3)に削減でき、センサー反応による必要時の巡回とし、1時間の時間短縮による負担軽減が図れている。 ○職員からも気持ちにゆとりが出来た事と、別の業務にも時間を作ることができるとの声が出ている。
③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等
夜間巡回時間1回15分×6を2回に減らし、センサー反応による必要時の巡回とし、1時間の時間短縮による負担軽減が図れています。職員からも気持ちにゆとりが出来た事と、別の業務にも時間を作ることができるとの声が出ています。また、操作方法も簡単で、誰もが負担なく使いこなせています。
④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画
今後も離床センサー付き低床ベッド等の導入を進めていきたい。 離床センサー付きベッドの必要対象者を検討し、有効かつ効率的な使用を進めていきたい。

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	見守りケアシステムM2内臓低床3モーターベッド	フランスベッド(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
110人	介護老人福祉施設

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>ベッドから車イスに自力で移乗される方の転倒リスク軽減の為、ベッドに端座位になった時点でナースコールがなるようにしている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>見守り時間及び身体的・精神的負担が軽減され、介護職員の満足度も高い。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>転倒リスクがあるご利用者の事を気にしなくて良くなったので他の業務等に充てられるようになった。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>導入台数が少なかったため、優先的に機器を使用すべき利用者の見極めが必要。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	ネオスケア	ノーリツプレジジョン(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
18人	認知症対応型共同生活介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>徘徊などによって転倒するリスクがあるご利用者の居室に機器を設置し、ベッドからの起き上がりや歩き出しを感知し携帯端末で把握することによって、転倒予防に繋げている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○見守り機能によるスタッフの業務負担の軽減 ・転倒リスクの回避、トイレ誘導・排泄介助のタイミングを見極めることにより、心理的負担の軽減や事後の追加業務の発生を未然に防ぐことができた。</p> <p>○夜間時の訪室が必要時に限定されたことによって、職員と利用者の精神的負担が軽減された。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○見守りに要する手間が減少したため、特に夜間帯の精神的負担が減少した。容易に設置場所を変えられるのも便利。</p> <p>○もう少し導入台数を増やしてほしい。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>導入台数が少なかったため、優先的に機器を使用すべき利用者の見極めが必要。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	CAREai (ふむふむセンサー)	ハカルプラス株式会社

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
18人	認知症対応型共同生活介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>居室ベッドの下(足を降ろす場所)にマットを設置し、ご利用者がベッドから起き上がりマットを踏んだ時点でセンサーが鳴り、立ち上がりから歩行時に見守りや介助が出来るよう使用している。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>特に夜間においては、ユニットにおいて夜勤者1名が9名のご利用者を見守る為に、センサーによって居室でのベッドからの移動・歩行時に対応できることにより、ご利用者の転倒リスクの軽減を図る出来た。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>導入により、職員の不安が軽減できた。ベッド周りの配線が少なく、線に引っかかったりする事なく安全に使用できている。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>継続して使用することにより、ご入居者の転倒リスクの減少を目指すとともに、職員の負担軽減も図っていく。 センサーマットを日々点検し、正しく動作しているか確かめ、安心安全に使用していきたい。</p>

R2年度介護ロボット等導入事例

導入した介護ロボット等の情報

種別	商品名	メーカー名
見守り	HitomeQ ケアサポート	コニカミノルタQOLソリューションズ(株)

導入した事業所の情報

利用定員数	介護サービスの種類
29人	地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

使用状況及び導入効果等

<p>①介護ロボットの使用状況（使用した業務・使用頻度等）</p> <p>全居室に見守りセンサーを設置し、居室で過ごされている方が行動を起こした際に起床・離床・長時間離床・要確認・転倒・転落・微体動(呼吸状態)とそれぞれ職員が持っているスマートフォン端末に通知が来るようになり、状況・状態を把握し、それらに応じた対応を行っている。</p>
<p>②介護ロボットの導入によって得られた効果 ※介護時間の短縮、軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等</p> <p>○無駄な訪室による入居者の睡眠の妨げを軽減できた。</p> <p>○以前は居室から物音があればすぐに駆けつける方法を取っていたが、職員待機室と近い居室であれば物音も聞こえるが端の方の居室となると聞こえないため、入居者を発見する際は居室から出て来られた時だったのが、センサー検知により駆けつけの優先順位を決められるようになり、職員の心理的な負担が軽減できた。</p> <p>○夜勤者の仮眠時間の確保がより確実なものとなり、導入前は職員目線で決めていたことがご利用者の行動パターンに合わせて対応できるようになった。</p>
<p>③介護ロボット導入に関しての介護従事者の意見 ※介護ロボット導入前との介護業務に係る負担の比較、使い勝手等</p> <p>○以前は居室内で物音がすると訪室し、それによりご利用者の睡眠が浅くなったり、目を覚ますようなことがあったが、居室内で過ごされている様子をセンサーが検知することで確認することができ、訪室するしないの判断ができるようになったので特に夜勤職員の負担軽減に繋がっている。</p> <p>○まず見守りセンサーについて使い方を習熟させることを目的としていたので検知数も多かったが、入居者の状態に合わせてどの行動からセンサーが検知するのかを決めていくことで効率良い運用に繋がっている。</p>
<p>④次年度以降の介護ロボットの使用計画 ※①、②、③を踏まえたうえで、より効果的な次年度以降の使用計画</p> <p>ご利用者の状態に合わせて適宜センサーの検知内容を検討する必要があるためユニット会議等で検討し適切に変更を行って行く。 導入して3ヵ月目なので現時点では途中経過となるが、居室内での転倒や転落等の事故減少を目指す。</p>